

## 科学倫理 YouTube ライブ講義 授業指導案

県立神戸高等学校  
地理歴史・公民科 大久 孔明

- 1 日時：令和2年5月19日（火）13:00～14:30
- 2 対象：総合理学科75回生40名、普通科75回生希望者
- 3 内容：特別講義「医学と生命倫理 ～医療現場の現状を踏まえて～」

### 4 「科学倫理」「現代社会」の現状

令和2年度はコロナウィルス感染症の拡大のため、4・5月は臨時休校となった。総合理学科75回生は学校での学びに期待を膨らませていただけない、休校によって彼らの学ぶ意欲が低下するのではないかと危惧した。そこで、例年は12月に集中して実施している科学倫理を4月から実施することとした。4月は講義動画で「生命倫理とは」「ベンサム功利主義とカントの義務論」を配信し、その中で「カントの義務論が医療現場に当てはまるか具体例を示しつつ説明せよ」という課題をメールで提出させた。様々な意見が寄せられ、これらを「当てはまる」「当てはまらない」「どちらとも言える」の3つに分類してまとめ、掲示板にアップして意見を共有させた。

また、現代社会の学習も並行して進めており、「現代社会の諸課題」の単元でコロナウィルス感染症の拡大と緊急事態宣言に関する動画配信を行った。

これらの学習を進める中で、5月の科学倫理は「生徒の学ぶ意欲を高める学習内容」「生命倫理」「コロナウィルス感染症の拡大」の3つをつなぐような内容を実施したいと考え、医療従事者の話を聞く特別講義形式の授業を企画した。

### 5 生徒の現状

家庭で、上記4で述べたような学習を進めている。休校期間が長引き、生活習慣が乱れる生徒や、課題提出が遅れる生徒がいる。一方で学校に質問するなどして積極的に家庭学習を進めている生徒もおり、差が開いた状況で学校が再開されるのではないかと考えている。

### 6 本時の目標

医療従事者による講義を聞き、医療現場の現状と生命倫理への興味・関心を深める。

### 7 方法

- ・教師がZoom（アプリケーション）により、講師をゲストとしてオンライン会議を開催する。なお、ZoomにYouTubeへのライブ配信機能を持たせる場合、Pro版（月額2,000円）の契約が必要である。
- ・オンライン会議をYouTubeでライブ配信する。ライブ配信を行うアドレスについては事前に取得し、学校の連絡掲示板を通じて生徒に日時とともに連絡しておく。
- ・生徒は自宅で動画を視聴する。
- ・質問は75回生学年団が指定しているメールアドレスに送信し、教師が動画配信中に読み上げ、講師に回答してもらう。講義内で、質問を入力する時間を確保する。

### 8 評価について

本校SSH事業で育成したいグローバル・スタンダード「8つの力」（1a～8b）をもとに評価する。

## (1) 評価項目

### ・問題を発見する力

1a：該当の分野の基礎知識や先行研究の知識が多い。(知識・理解)

1b：「事実」と「意見・考察」を区別できる。(思考・判断)

1c：[既知と課題の区別]自分にとっての「未知」(課題)を説明できる。(思考・判断)

### ・交流する力

5a：積極的にコミュニケーションをとることができる。(意欲・関心・態度/知識・理解)

### ・質問する力

7a：疑問に思ふ内容を、質問を前提にまとめることができる。(思考・判断)

### ・議論する力

8a：[予測して調査・資料作成]論点になりそうなことの準備ができる。(思考・判断)

## (2) 評価方法

・事前に質問したいことを考えさせる。(5a, 7a, 8a)

・事後に感想をメールで送らせる。(1a, 1b, 1c)

## 9 その他

講義は録画し、当日視聴できなかった生徒には後日見せるなどのフォローを行う。

## 10 本時の展開

時間	内容	詳細
12:55	配信開始	・撮影と実際の動画にはタイムラグが生じるため、少し早い時間から動画配信をしておき、13時に開始できるようにする。
13:00(5分)	挨拶・諸注意等	・以下のことについて説明する。 ①本講義の内容・対象・形式・流れについて ②動画のトラブルについて ③質問送信について ④休憩時間について
13:05(10分)	講師紹介・自己紹介	・講師を紹介した後、講師のZoomのミュートを解除し、画面共有等、進行を委ねる。
13:15(20分)	お話① 医学の現在	・講師が進行するが、対談形式をできるだけ維持するため、その場で教師から質問を入れるなどする。(お話②も同様)
13:35(7分)	休憩(質問作成・送信時間)	・画面に再開時間を表示する。 ・これ以降、サブのパソコンでメールを確認し続ける。
13:42(20分)	お話② 生命倫理	
14:02(8分)	休憩(質問作成・送信時間)	
14:10(10分)	質疑応答	・教師が質問を読み上げる。文字を画面で表示できれば良いが、臨機に対応する。 ・時間が押した場合も臨機に対応する。
14:20(10分)	課題指示・おわりの挨拶	・1年9組には感想の提出を指示する。 ・講師へ謝辞を述べる。
14:30	配信終了	